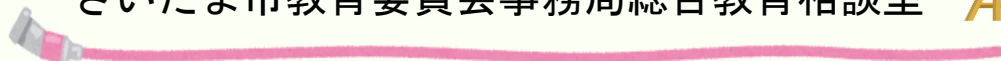




さいたま市立「学びの多様化学校」説明会



令和7年1月24日（金）・1月27日（月）
さいたま市教育委員会事務局総合教育相談室



目次



さいたま市立「学びの多様化学校」のスクールビジョン	1
さいたま市立「学びの多様化学校」の概要	1
3つの特色	
特色1 いつでもどこでも学びにアクセス	2
特色2 自分らしく学べる教科「未来工房」の設定	3
特色3 安心できる居場所	4
カリキュラム・学校生生活など	
授業時数（予定）	5
日課表（イメージ）	5
1日の流れ（イメージ）	6
プレ開校について	7
よくある質問	8～10
問い合わせ	11



さいたま市立「学びの多様化学校」のスクールビジョン

自分らしさを輝かせ、未来の自分を描ける学校

さまざまな理由で在籍校に登校できなかった児童生徒一人ひとりに寄り添った多様な支援をしていきます。児童生徒が学力やコミュニケーション能力等を身に付けていくことで、「こんな人になりたいな」、「こんな仕事をしたいな」など、卒業後の自分や将来の自分をイメージして成長できることを目指します。

「学びの多様化学校」とは

不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成して教育を実施する文部科学省指定の（学校教育法第1条に定められた）学校です。

さいたま市立「学びの多様化学校」の概要

校 種 等：小・中一貫型小学校・中学校

教 育 課 程：特別に編成された教育課程

対 象：原則学校を年間30日以上欠席している、もしくは、
していた児童生徒

校 舎：市内6か所のキャンパス（教育相談室の一室）

- ・対象の児童生徒は、何らかの心理的、情緒的、身体的、社会的要因などの背景により登校しないあるいは登校したくてもできない状況にあるもの。
- ・少人数指導やオンライン学習を活用した支援を行いますが、通常の学級であり、特別支援学級や通級指導教室とは性質が異なります。

3つの特色

特色1 いつでもどこでも学びにアクセス

市内6か所のキャンパスでも、家でも学ぶことができます。その日のお子様の状態でキャンパスへの登校が可能な場合にはキャンパスへ登校し、難しい場合には、自宅からオンラインで授業に参加することも可能です。

※各キャンパスへの通学は、各自、徒歩や公共交通機関、自転車（中学生以上を想定）となります。保護者による送迎も可能です。なお、通学に必要な交通費等は、各ご家庭でご負担いただきます。

<本校と6つのキャンパス>

本校及び岸町キャンパス：浦和区岸町 6-13-15 さいたま市立教育研究所

※校長、教頭、養護教諭、事務職員、心理師等の教職員が本校に配置されます。

北キャンパス：北区日進町 2-1915-1 つばさ小学校敷地内

堀崎キャンパス：見沼区堀崎町 48-1 職員研修センター内

あいぱれっとキャンパス：浦和区上木崎 4-4-10 子ども家庭総合センター3階

美園キャンパス：緑区美園 4-19-1 美園コミュニティセンター3階

岩槻キャンパス：岩槻区本町 3-2-5 ワッツ東館4階



特色2

自分らしく学べる教科「未来工房」の設定

「未来工房」には、必修の内容と選択の内容があります。

必修

全員が学ぶ内容です

- 音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、技術・家庭の内容を関連付けた学習

例えば、7月「水と友達」という単元で、体育の「水泳」、音楽の「海」合唱、図画工作の「版画」を学習し、水に関連するさまざまな教科に取り組む。

- こころの仕組みなどについて学ぶメンタルヘルス教育

「『生きる』教育」として、例えば、「心とからだの距離感」や「心の傷」、キャラクターを通して人と人とのかかわり方について学ぶなど、自己肯定感を育て、自分と相手を大切に学ぶを行う。

選択

選んで学ぶ内容です

- 自分の好きなことや興味・関心のあることに没入できる時間

例えば、「星」に興味・関心があり、星のしくみや、なぜ流れ星があるのか、季節によって異なる観測できる星座を調べるなど、とことん調べて、その成果を定期的に発表します。

- 先端技術を活用した探究的な学びの時間

例えば、自宅の屋根の劣化を確認するためにドローンを使いたいのので、そのためにプログラミングを組んで操作する練習を行う。また、日常的に使用しているイヤホンをしまうためのラックをデザインして3Dプリンターで作成するなど。



【プログラミングし、ドローンを飛ばす様子】



【3D プリンター作品作成に向けてプログラミングする様子】

特色3 安心できる居場所

転入学前のみならず、転入学後も学校生活における悩みは多くあると考えます。さいたま市立「学びの多様化学校」では、児童生徒一人ひとりのそれぞれの悩みに、担任等はもちろん公認心理師や精神保健福祉士などの専門職が相談に乗ります。

また、卒業後の進路についても、一人ひとりの希望をもとに、教員が、お子様や保護者と相談を重ねながら、安心して進路先を選ぶことができるようにします。対面での面談ができない場合には、メタバースでの音声面談や、チャットのやりとりも可能です。



【メタバースを活用して専門職に悩みを相談したり、進路について相談したりするイメージ】

※昼休みの時間についても各自のペースで過ごせることを大切にしています。
一斉での給食はありませんので、各自で昼食を用意していただきます。



カリキュラム・学校生活など

授業時数（予定）

区分		小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3		
教科等	必修	国語	214	306	221	315	172	245	172	245	123	175	123	175	98	140	98	140	74	105
		社会	-	-	-	-	49	70	63	90	70	100	74	105	74	105	74	105	98	140
		算数・数学	95	136	123	175	123	175	123	175	123	175	123	175	98	140	74	105	98	140
		生活・理科	71	102	74	105	63	90	74	105	74	105	74	105	74	105	98	140	98	140
		「グローバル・スタディ」	34	34	35	35	70	70	70	70	105	105	105	105	157	157	157	157	157	157
		特別の教科 道徳	24	34	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35
		特別活動	24	34	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35
		「人間関係プログラム」	-	-	-	-	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	-	-	-	-
	教科等小計	462	646	503	700	536	729	561	764	554	739	558	744	560	726	551	717	575	752	
未来工房	必修	①SMARtタイム (教科横断的な学習)	143	-	150	-	112	-	112	-	119	-	114	-	114	-	132	-	115	-
		②HEARTタイム (こころの時間)	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-
	選択	③いろどりタイム (個別最適な学び)	105	-	105	-	140	-	140	-	158	-	158	-	176	-	176	-	158	-
		④いろどりLAB (最先端LAB)																		
		未来工房小計	257	-	264	-	261	-	261	-	286	-	281	-	299	-	317	-	282	-
合計時数	(必修) (選択)	719	614 105	884	767 662 105	945	797 657 140	980	822 682 140	1015	840 682 158	1015	839 681 158	1015	859 683 176	1015	868 692 176	1015	857 699 158	1015

日課表（イメージ）

時間	月・火・水・(木)・金	木(月2~3回)
9:00~9:30	最寄り キャンパスに登校	学年 キャンパスに登校
9:30~9:55	朝のHR	
9:55~10:40	1時間目(教科・いろどり)	未来工房 (SMARt)
10:40~10:55	休み時間	
10:55~11:40	2時間目(教科・いろどり)	
11:40~11:55	休み時間	
11:55~12:40	3時間目(教科・いろどり)	
12:40~13:40	昼休み(昼食)	移動・昼休み(昼食)
13:40~14:25	4時間目(教科・いろどり)	4時間目(HEART・人プロ 他)
14:25~14:40	休み時間	休み時間
14:40~15:25	5時間目(教科・いろどり)	5時間目(特活・道徳 他)
15:25~15:35	掃除	
15:35~15:45	帰りのHR	

給食はありません。
各自で用意ください。

※月2回～3回木曜日に、指定の「学年キャンパス」に登校し、未来工房等学年別の学習を行います。

1日の流れ（イメージ）

● ～9：30 登校

本校またはキャンパスに登校します。月2回～3回木曜日に、学年で指定したキャンパスに登校します。その日の調子に合わせて2Dメタバース上で登校することも可能です。

● 9：30～9：55 朝のホームルーム

本校及び各キャンパスの教員が出欠の確認、体調の確認を行います。
1日の予定の確認をして1日をスタートします。

● 9：55～10：40【1時間目】

各キャンパスで授業を行います。授業を行う教員が他のキャンパスにいる場合には、オンラインでつないで授業を受けます。

● 10：40～10：55 休み時間

● 10：55～11：40【2時間目】

● 11：40～11：55 休み時間

● 11：55～12：40【3時間目】

● 12：40～13：40 昼休み（昼食）

給食はありません。一人ひとりが自分のペースで思い思いの時間を過ごします。

● 13：40～14：25【4時間目】

● 14：25～14：40 休み時間

● 14：40～15：25【5時間目】

● 15：25～15：35 掃除

生活した場所のごみを拾ったり、机やいすを拭いたりします。

● 15：35～15：45 帰りのホームルーム

その日の振り返りを行います。
次の日の予定を確認して下校となります。

プレ開校について

令和7年7月から「学びの多様化学校」の模擬体験ができるプレ開校を行います。

概要

期間：令和7年7月22日（火）～8月8日（金）の14日間 ※土日を除く

時間：9時30分～15時35分〔ホームルーム及び授業5時間の体験〕

場所：各キャンパス

内容：①登校による体験（各キャンパスに登校し、授業等を体験）

②オンラインによる体験（自宅からオンラインで授業等を体験）

※①は、1人3回まで体験可能です。

※②は、プレ開校期間中、全ての日で体験可能です。

申込：令和7年4月21日（月）～5月20日（火）の期間内に市のホームページからお申し込みください。

<各キャンパス>

本校・岸町キャンパス



北キャンパス



堀崎キャンパス



あいぱれっとキャンパス



美園キャンパス



岩槻キャンパス



よくある質問

<転入学について>

Q さいたま市外に住んでいますが、転入学することは可能ですか

A さいたま市立「学びの多様化学校」は、さいたま市内に在住する児童生徒を対象としているためさいたま市外から転入学することはできません。

Q 4月と10月以外で転入することはできますか

A 転入学は、4月と10月の年2回としているので、できません。

Q 令和8年4月に転入学する場合、プレ開校に参加する必要はありますか

A 令和8年4月に転入学する場合、令和7年7月22日(火)～8月8日(金)に開催されるプレ開校に参加することが望ましいです。プレ開校への参加が難しい場合は、個別に相談を受け付けます。

Q 不登校でないと転入学はできませんか

A 「学びの多様化学校」は、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成して教育を実施する学校であるため、学校を年間30日以上欠席している、もしくはしていた児童生徒を原則としています。

Q さいたま市立「学びの多様化学校」に転入学後、地元の学校に戻れる状態になったら戻ることは可能ですか

A 可能です。再度転校の手続きを取っていただくこととなります。お子様にとって最適な環境は何かを相談して決めていきます。

Q 現在特別支援学級で学んでいますが、さいたま市立「学びの多様化学校」に転入することはできますか

A さいたま市立「学びの多様化学校」の教育課程が、一人ひとりのニーズに配慮した特別な教育課程であるため、特別支援学級を設けることは想定していませんが、特別支援学級から「学びの多様化学校」に転入学を希望される場合は、転入学の手続きと併せて通常の学級への形態変更の手続きが必要となります。

<登下校について>

Q 登下校の方法はどのようになりますか

A 徒歩、自転車（中学生以上を想定）、公共交通機関となります。保護者による送迎も可能です。

Q 登校するキャンパスを選ぶことはできますか

A できます。転入学時に希望を伺います。

Q キャンパスまで自転車で通うことは可能ですか

A 自宅から本校またはキャンパスまでの距離や安全性を本人及び保護者と確認をした上で、自転車通学について判断をします。（中学生以上を想定）

<出欠席について>

Q 自宅で授業に参加した場合は、「出席」になりますか

A 本校または各キャンパスに登校した場合は「出席」になります。登校できず自宅で授業に参加した場合は、「出席扱い」となります。

Q 遅刻や早退はどのようになりますか

A 遅刻や早退について想定しておりますが、現在検討中です。

<学習について>

Q 削減した授業内容の扱いはどのようになりますか

A 授業時間数は7割程度としますが、国で定められた各教科の項目及び目標は網羅しています。「未来工房」で教科横断的な学びを行うなどから、履修しない内容はありません。

Q 成績はどのようにつきますか

A 学習指導要領に定められた各教科の項目や目標をもとに成績をつけます。単元テストを行ったり、レポートを作成したりすることも想定して、すべての教科の評価・評定を行います。

Q 行事はどのようなものがありますか

A 一般の小学校、中学校と同様の行事を行う予定です。宿泊行事等も予定しています。学年を超えて行う行事も多く想定しています。

<費用について>

Q 特別な費用はかかりますか

A 公立の学校なので授業料は必要ありません。他の学校と同様に、教材費や校外学習に必要な経費等は負担していただくことになります。さらに、通学のための交通費がかかります。(月2回～3回は学年キャンパスへ登校)

Q 制服は必要ですか

A 指定の制服はありませんので、新たに購入いただく必要はありません。既に購入した制服がある場合は利用する事も可能です。同様に体育着等も指定しませんので、学習内容に適した服装で活動してください。

<保険について>

Q 活動中の事故等に対する保険等はどうなりますか

A さいたま市教育委員会では、市立学校に在学する児童生徒の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「センター」という。）と災害共済給付契約を結んでおり、各ご家庭に年間460円をご負担いただいております。「学びの多様化学校」においても同様で、転入の際は、申し送りを行い、学校で起こったけがなどに対して様々な給付制度をご利用いただきます。

<進路について>

Q 他の中学校からと同じように高校受験はできますか

A できます。法で定めた学校であるため、高校受験（上級学校）への受験に不利益となることは決してありません。

<学校外での支援について>

Q 学童は利用できますか

A 現在学童の利用は想定していません。

Q 現在利用している、教育支援センターやフリースクールは、さいたま市立「学びの多様化学校」に入学しても利用できますか


A さいたま市立「学びの多様化学校」に入学後も、教育支援センターやフリースクールを利用することは可能です。さいたま市立「学びの多様化学校」での学校生活が、児童生徒一人ひとりにとって、よりよいものになるように支援します。

<その他>

Q 受入れ人数は何人ですか

A 300人を想定しています。

お問い合わせ



(担当) さいたま市教育委員会事務局総合教育相談室

不登校等児童生徒支援係

TEL: 048-688-1453 (平日 9:00~17:00)

E-mail: kyoiku-sogo-sodan@city.saitama.lg.jp